

# 風物詩

## 産学官連携“<sup>すだれ</sup>大阪金剛簾プロジェクト”

富田林市の重要な伝統産業である大阪金剛簾は、江戸明暦年間（1655～57年）に富田林市で産地形成が始まりました。明治時代初期には本格的な産業として、昭和20年代には市内に約350社の集積があり、本市の重要な産業の一つとして海外への輸出も含め隆盛を極め、平成8年には国の伝統的工芸品指定を受けました。

しかし、石油化学工業の発達や住生活の洋風化に伴って、簾がカーテンなどに代替され始め、多くの事業所が廃業に追い込まれ、現在では市内事業所は数社を数えるまでになりました。

そのような中で、伊勢神宮など全国の有名な神社や大河ドラマ等でも使用されている大阪金剛簾という地域資源を何とかして活用できないかと考え、市・市観光協会・簾事業者・大阪芸術大学の有志で今回のプロジェクトを立ち上げました。



このプロジェクトは、①大阪金剛簾のまち富田林の発信、②大阪金剛簾を活用した地域づくり、③簾工業の振興、④簾から派生する地域商工業の振興の4つを主目的として、富田林の都市魅力や価値の向上を目指す3ヶ年計画となっており、今回はその第1弾として、富田林寺内町で「すだれ×アート」と題し、町家をお借りして実施しました。

当日は、夏の風物詩「寺内町燈路」と同時開催ということもあり、多くの市内外の来訪者やアート関係の方々にお越しいただき、町家で飾られた簾やアートの魅力に触れていただき、「素敵だった」「よかった」という多くの声をいただきました。

今後は、市内でのPRのみならず、新たな商品製作や地域内企業との連携、市外・海外でのPRなどに努めるということで、このプロジェクトがより広い世界に羽ばたくことができるよう期待しています。

### ● お問い合わせ先 ●

富田林市産業環境部商工観光課

TEL：0721-25-1000